

共同助成(岐阜県遊技業協同組合)

## 「学習支援スタッフの育成・派遣・訪問」事業

### 学習支援スタッフの育成や環境整備を図ることが子どもたちの学びの機会や内容の充実につながる

子どもの貧困問題の深刻化により、様々な格差が生じてきている。その解消に向け、学校外での学習支援の重要性が言われているが、その担い手不足も問題となっている。岐阜県で子どもたちの学習支援に取り組むネットワーク団体が行政からの委託事業では対象外とされているスタッフの育成・研修や市民啓発活動を実施した。



シンポジウムでは学習支援活動をしている運営者のほか、県職員などが登壇し、現状と課題を共有



研修会では学習支援室ごとにスタッフ同士で話し合う

### 学校外での学習支援の機会を保障するための取り組みに挑む

一般社団法人「ぎふ学習支援ネットワーク」は、岐阜市周辺で学習支援活動を実施している大小様々な団体が集まって結成されたネットワーク団体で、団体同士の交流や学び合い、活動の広報や啓発イベントの実施、スタッフ・学習支援希望者のコーディネート、育成など様々な後方支援を実施している。2015年度より岐阜市寄り添い型学習支援事業(生活困窮家庭の子どもに対する学習支援)を実施するとともに、全国の学習支援団体との交流なども実施している。

子どもの貧困問題の深刻化を受けて、学校外での学習支援の機会を保障する政策が全国で実施されるようになってから5年ほど経つが、その実施状況や事業の内容は自治体ごとの差も大きく、地域間格差が生じてしまっ

ている現状がある。また、学習支援事業の実施・運営は教室だけで完結するものではなく、子どもたちに日々接するスタッフの確保や育成、教室まで通って来られない子どもたちへの対応、子どもの実情に対する理解や支援活動への誘導などを行なうための市民啓発の取り組みも不可欠の課題となっている。現状では学習支援教室の数はまだまだ足りていない状況にあるが、担い手となるスタッフの確保・養成や市民の理解がないままでは教室数の拡大や支援の充実には至らない。

こうした実情を改善していくため、同法人ではAJOSCの助成を活用し、地域における子ども支援の活動に対する公的責任の所在を明らかにしつつ、地域活動に対する市民の理解・関心を高めていくという目的で、シンポジウム及び実践交流会などの事業を企画・実施した。

### 学習支援についての市民啓発イベントやスタッフ研修会、訪問支援などの事業を実施

実施した事業は、具体的に以下の三つに大きく分けられる。[1]スタッフ研修会(9月~3月の全10回、1回あたり5~20人程度参加):日々の実践のなかで感じている疑問や実践上の課題について、学習支援室ごとにスタッフ同士で話し合い、研修企画を計画・実施。[2]学習支援についての市民啓発イベント:①「地域で育む子どもの未来」(6月2日、参加者210名)/地域で子ども支援に取り組む様々な団体が集まり、シンポジウム・実践交流のイベントを企画・実施。シンポジウムでは当該地域で学習支援活動を実施している運営者のほか、厚生労働省社会・援護局職員、岐阜県子ども家庭課職員、大垣市社会福祉課職員が登壇し、現状と課題を共有した。②夏休み明けのSOSキャンペーン「地域で支える子どものいのち」(8月24日、参加者65名)。[3]教室に来られない子どものための訪問支援(通年、17人に対し124回の訪問):ひきこもり

状態や遠隔地であるため、教室まで通所できない子どもの家庭に訪問し、学習支援を実施。

今回の事業を振り返り、同法人の共同代表である南出吉祥さんは、「ネットワークによる学習支援活動の意義と成果をあらためて整理・発信することが可能となり、当団体の活動についての報告依頼が多数来るようになりました。普段は目の前の子どもへの対応に追われ、なかなか子どもの背景や社会情勢に目を向ける機会が持てなかったスタッフたちにとって、研修やイベントの機会を通じて得られた学びは、日々の実践にも役立っているという声が出ています」と話している。

### 岐阜県遊技業協同組合より

学習支援だけでなく、スタッフの育成・支援など行政の手が届きにくい課題を支援する活動に賛同させていただきました。この活動が全国に広がることを願っています。



夏休み明けのSOSキャンペーンを告知するチラシ



僧侶の傍ら若者の自死防止相談などの活動を行っている根本一徹さんによる公演

助成団体:一般社団法人 ぎふ学習支援ネットワーク

<https://gifugakushusien.qloba.com/>



### 成果が見えづらい裏方業務に対する理解の広まりを願って

「現場を支える裏方業務及びネットワーク活動」という表には見えづらい事業であるにもかかわらず、助成をいただけて本当に助かりました。子ども支援は極めて公共性の高い活動で、本来は国や自治体が整備すべき事業ですが、未整備な現状にあります。その分野で奮闘されている各地の市民団体にも支援の目を向けて頂けると幸いです。

一般社団法人 ぎふ学習支援ネットワーク  
共同代表 南出 吉祥さん